

意見書

東出洋一議員、福嶋克彦議員、又地信也議員から提出された意見書案は原案どおり可決され、内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。

▼「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」 提出者 東出洋一 議員

ウイルス性肝炎患者、特にB型・C型肝炎の患者に対する医療費の助成は、対象となる医療が限定されており、高額な医療費の負担をよぎなくされ、就労不能のかたも多く生活に困難をきしていることから、国に対し生活支援に対する新たに具体的な措置を講ずるよう要望しました。

▼『「住民の安全・安心を支える「国の出先機関」の拡充を求め、「公務の民営化・独立行政法人化・業務委託化」に反対する意見書」 提出者 福嶋克彦 議員

国家公務員は、連年の定員削減と行政改革推進法による定員純減、人員不足による行政サービスに支障をきたしています。

国の出先機関改革に際しては、廃止や地方移管を前提としないことや、必要な人員を確保するよう要望しました。

▼「TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書」 提出者 又地信也 議員

TPPは農業だけの問題ではなく、国民一人ひとりの暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題であり、国民的議論のないまま交渉を進めることは決して国益にかなうものではないことから、すべての国際貿易交渉における重要品目等の関税を維持することなどについて要望しました。

表彰

このたび、東出洋一副議長が副議長職6年以上、吉田裕幸議員が議員職10年以上の永年勤続として、渡島町村議会議長会より表彰され、3月定例会で岩館議長から伝達されました。おめでとうございます。



左から 吉田議員、岩館議長、東出副議長

第2回臨時会 福祉バスを更新

平成26年第2回木古内町議会臨時会が4月21日に開催されました。

臨時会では、導入後20年が経過し老朽化している福祉バスの取得と、地方税法の一部改正に伴い、関連する木古内町税条例並びに国民健康保険税条例の一部改正も、原案のとおり可決されました。

お詫び

議会では、平成26年度から本会議のインターネット中継を予定していましたが、配信に伴い町側の理解が得られないため、実施が先送りとなりましたのでお詫びします。早い時期の実施を目指しますので、よろしくご理解をお願いします。

編集後記

■平成26年度木古内町一般会計予算約54億4千万円と各特別会計・事業会計予算約44億1千万円を合わせた、総額約98億5千万円の、ぼる大型予算が3月の定例会で可決されました。

■いよいよ、新幹線関連事業が本格化し、まさに木古内町は時代の転換期を迎えようとしています。

で、長く慣れ親しんだJR江差線(木古内―江差間)が、あと10日あまりで廃線となります。

時間があれば昔を偲んで、車窓から見える山桜や新緑の風景を楽しんでみてはいかがでしょう。

新しい発見があるかも知れません。

■7月下旬頃には、待望の町民プールが完成します。

老若男女を問わず、健康づくりのためにおいに利用することをおすすめします。

議会だより編集特別委員会
委員 吉田裕幸